

「マーケットの浅読み・深読み」

発行・編集:FXニュースレター

執筆担当:斎藤登美夫



◆◆◆ No.0710 ◆◆◆

22/10/26

【 97年参考なら、ドル高は「8-9 合目」に到達か 】

ドル/円の日足は 20 日までに「12 連騰」。週足も先々週まで 9 週連続の陽線引けを記録するなど、ドル高機運が依然として根強い。そののち日本の政府・財務省は断続的なドル売り・円買い介入に出動しているものの、飽くまでスミージングオペに過ぎず、流れは簡単に変えられないとの見方が一般的だ。しかし、以前に報じた「1997 年と今年は類似相場」との見方から考えた場合、ドルはまだピークをつけていないにせよ「8-9 合目」とすでに天井圏に達してきた可能性もある。スピードの速さだけは気掛かりだが、トレンド転換について少しずつ意識し始めても損はない気がしないでもない。

◎価格的には最低レベルを達成、問題は時間で「大いに物足りない」

筆者は、9 月 7 日付の当レターで 1997 年相場との「類似」についてレポート、「いよいよドル高 7 波開始?!」と報じていた。

詳細については、是非ともバックナンバーを参考にさせていただきたいが、結論のみを記すと足もとドル高 7 波がスタートしたのならば、終了のメドは最低でも「145-150 円」、「来年 2-4 月」ごろと指摘している。そして、改めて指摘するまでもなく、ドル/円の実勢相場は 21 日に 151.94 円を示現するなど、前者に挙げた「最低レベルの上値メド」をすでに超えてきたわけだ。

ちなみにドルの上値メドについて、どこから「145-150 円」、「来年 2-4 月」という数字が出てきたのか。前回レポートを読めばわかっていただけだと思うのだが、こちらもごく簡単に説明すると下表のとおり、今年の相場は 1997 年相場の約半分程度でここまで推移していることがもっとも大きい。つまり、1997 年 6 月安値を起点に始まったドル高第 2 波の 37.01 円、33.45%上昇の半分を、今回の起点 8 月安値 130.40 円に計算すればザックリ前記した「145-150 円」などとした数値が導き出されることになる。足もとのドル/円はトップをまだ付けたとは言わないまでも、すでに 8-9 合目へと達している可能性も否定できない。

しかし、これには幾つか難点があり、そのひとつが「時間的要因」だ。下表のように 1997 年の第 2 波、110.63 円を起点とした上昇は実に 14 ヶ月と 1 年以上にわたって続いたが、今年はわずか 2 ヶ月半。いくらなんでも短すぎると言わざるを得ず、過去との整合性がとれない。

また、時間ではなく値幅についても幾分疑問がなくてはならない。それは、今回が 1990 年以降観測されている「ドル高の第 7 波」だとすると、変動幅・変動率とも過去最低。それも、変動幅については唯一の 10%台となるなど、非常に物足りなさが残る。同じく過去との整合性を考えると、前者の変動幅はもちろん、後者・変動率について、さらなるアップが期待されるどころだ。

一方、ここ最近のドル/円実勢相場を考えると、確かに政府・財務省による円買い介入に対する関心は高いものの、24 日にイエレン米財務長官が「日本のいかなる介入も知らない」と、やや突き放したようなコメントをしていたことが気になってくる。9 月 22 日に日本が円買い介入した際には日本の行動は理解すると消極的ながら容認している感も見られたものの、ここ数日の介入についてはヒョットすると不満を抱き始めているのかもしれない。

資金枯渇などが問題ではなく、政治的な意味合いで政府・財務省が徐々に円買い介入を実施しにくくなるのだとすれば、むしろドル/円の上値余地はまだまだ大きいものがあるのだろう。(了)

<<97年と今年のドル/円相場対比>>

	日付(室が開始、右は終了)	変動幅	変動率	期間	日付(室が開始、右は終了)	変動幅	変動率	期間		
1	19950419	19970501	47.72	59.84	24ヶ月	20210106	20220714	36.80	35.87	17ヶ月
	79.75	127.47				102.59	139.39			
2	19970501	19970611	-16.84	-13.21	1.5ヶ月	20220714	20220804	-8.99	-6.45	0.5ヶ月
	127.47	110.63				139.39	130.40			
3	19970611	19980811	37.01	33.45	14ヶ月	20220804	20221021	21.54	16.52	2.5ヶ月
	110.63	147.64				130.40	151.94			

*赤字は10月25日時点の約定値

